

東邦大学医療センター大森病院臨床研修プログラム

血液専門医・腫瘍内科医育成コース（大森）

募集定員

若干名

コースの特徴

血液病専門医、腫瘍内科専門医育成を目的とした専門研修を行う。専門医指導により、血液病学・腫瘍学における幅広い知識と技術を習得できる。当科の特徴は、対象疾患が造血器疾患に加え乳癌、原発不明癌であること、多彩な病態生理を持つ造血器疾患、究極の治療である造血幹細胞移植を経験することにより全身管理習熟が可能であり、第一線の実地医療の現場で直ちに役立つ血液専門医、全ての化学療法に対応可能な腫瘍内科医を養成するよう工夫されていることにある。本コースにより日本内科学会認定医および日本血液学会専門医、日本臨床腫瘍学会専門医、日本乳癌学会認定医、日本がん治療認定医などを取得するための十分な症例数を経験できるよう配慮されている。また、老年者造血器疾患研究会、日本老年医学会に参加することにより高齢者における化学療法について習熟し老年専門医を取得する。当科での育成コースの後に、連携高度先進医療施設において最新の治療学をアップデートすることにより造血器疾患・乳癌の専門性の研鑽、そして診断から治療方針の決定、治療と治療後の全身管理を確実なものにする。

研修カリキュラム

1年目

病院名・診療科

東邦大学医療センター大森病院総合診療科

研修期間

東邦大学医療センター大森病院総合診療科の場合：3か月

習得内容

内科全般の能力を身につけ、全身管理の基本を習得する。

2~4年目

病院名・診療科

東邦大学医療センター大森病院血液・腫瘍科

研修期間

2年

習得内容

造血器疾患全分野を経験し、化学療法前後の検査マネージメントを習得する。更に造血幹細胞移植のチームに加わる。乳癌の化学療法を経験することにより外科との連携の重要性を認識する。化学療法施行後の全身管理を経験し感染症に対する抗生素選択方法を習得する。

最短で2年目に認定内科医の受験が可能となる。症例が足りない場合は2年目で配慮する。

5年目

病院名・診療科

高度先進医療施設（出張施設は当科で責任を持って設定）

希望により出張せずに血液・腫瘍科でレジデントとして在院

研修期間

1年

習得内容

化学療法全般、造血幹細胞移植について研修。

最短で5年目に血液専門医、日本臨床腫瘍学会専門医の受験が可能となる。

6年目**病院名・診療科**

東邦大学医療センター大森病院血液・腫瘍科

研修期間

1年

習得内容

今まで習得した知見・技術を再確認。

内科認定医、および、血液専門医・日本臨床腫瘍学会専門医・がん治療認定医

週間予定

外来診療	月曜日～土曜日 (第3土曜日は休診)	午前(9:00～)	初診・再診
	月曜日～金曜日	午後(14:00～)	初診・再診
	(救急患者に対しては専任担当医が随時対応)		
カンファレンス	水曜日	13:30～14:30	医局員全員、研修医、学生
回診	水曜日	14:00～16:00	医局員全員、研修医、学生
顕鏡検討会	火曜日	17:00～17:30	スライド診断医局員全員、研修医、学生
医局会	水曜日	18:00～19:00	CPC、予演会、研究発表会、医局会など医局員全員、研修医、学生
症例検討会	第4月曜日	18:00～	スライドを中心とした検討会医局員全員、研修医、学生

教育関連病院・施設

東邦大学医療センター大森病院 血液・腫瘍科 総括指導責任者：名取 一彦

コースの実績（学位及び専門医等の取得状況等）

当科では、発足 7 年で医局員 6 名、日本内科学会認定医、日本血液学会専門医については 5 名が取得している。学位は現在診療責任者のみであるが、医局員最上級学年が 15 年目であり、現在、学位申請中である。

コースの指導状況

大学病院・関連病院ともに高度の専門性と豊富な指導医があり経験豊富な指導医の元で、一人の指導医に偏らず、指導を受けられる。研究と臨床研修がバランスよく行えるようなカリキュラムを個別に作成している。がんプロフェッショナル事業などにも積極的に人材を派遣し協力している。

大学院と海外留学について

現在大学院生は受け入れていないが近年中に整備され募集を開始する。

評価及び修了認定

年度ごとにプログラム指導責任者と管理運営責任者が研修の進捗状況を評価する。最終的には日本血液学会専門医、または日本臨床腫瘍学会専門医資格を取得することにより、血液専門医、腫瘍内科医としての修了認定としている。

認定医・専門医の取得等

学会等名	日本内科学会
資格名	日本内科学会認定医
資格要件	教育病院 3 年以上、ACLS 履修等
専門資格の概要	
必修化された臨床研修 2 年は教育病院での研修扱いとする。当該学会が認定した教育病院（大学病院含む）における後期研修プログラムの一環として無認可病院へ派遣された措置がある（1 年以内の派遣に限る）。	

学会等名	日本内科学会
資格名	日本内科学会認定総合内科専門医
資格要件	認定内科医資格取得後、認定教育病院での研修 3 年以上
専門資格の概要	
認定内科医資格取得後、認定した教育病院（内科臨床大学院含む）での内科研修 1 年以上 + 認定教育関連病院での内科研修 2 年以上 = 計 3 年以上(卒後 6 年以上)。	

学会等名	日本血液学会
資格名	血液専門医
資格要件	教育病院 3 年以上の研修　日本内科学会認定医であること
専門資格の概要	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本内科学会認定医または日本小児科学会専門医(認定医)である者。 2. 卒後 6 年以上の臨床研修を必要とし、このうち 3 年以上日本血液学会が認定した研修施設において臨床血液学の研修を行った者 3. 申請時に継続して 3 年以上、(新)日本血液学会(旧 血液学会、及び、旧 臨床血液学会)の会員である者 4. 臨床血液学に関係した内容で、筆頭者として学会発表または論文が 2 つ以上ある者 	

学会等名	日本臨床腫瘍学会
資格名	日本臨床腫瘍学会専門医
資格要件	教育病院 5 年以上の研修
専門資格の概要	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 申請時点で 2 年以上継続して学会員であること（専門医制度規則第 13 条 1）。申請時において 5 年以上がん治療に関する研究活動を行っていること、およびがん治療に関する十分な業績があること（規則第 13 条および細則第 12 条）。 2. 研修認定施設において本学会所定の研修カリキュラムに従い、2 年以上臨床研究を行いこれを修了した者。 3. 各科の基本となる学会の認定医あるいは専門医の資格を有していること。 	

学会等名	日本がん治療認定医機構
資格名	がん治療認定医
資格要件	
専門資格の概要	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 認定医制度規則施行細則第 11 条による所属する基本領域学会の認定医又は専門医の資格を有すること。 2. 機構の定める認定研修施設において、機構の定めるがん治療研修を終了し、指導責任者（当機構暫定教育医または認定医）による証明がなされていること。 3. 学会発表 別紙資格審査のための業績基準に挙げる学会において発表された、がん診療についての業績 2 件（予備を含め 5 件まで申請可、共同演者も可とします。） 4. 論文発表 別紙資格審査のための業績基準に挙げる学術雑誌または学術図書に掲載されたがん診療についての業績 1 件（予備を含め 3 件まで申請可、共著でも可とします。） 	

5. 機構が開催する教育セミナーに参加し、受講後に行われる認定試験に合格していること。